

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月20日更新

事務事業名	議会広報広聴事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	議会事務局	課長名	財津 公正
	施策	2 行政改革の推進	所属課	議会事務局	担当者名	中村 考智
	施策の柱	10 開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線)	1312
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10930	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	議会活動を広報広聴する事業と議会広報調査特別委員会の活動費である。 ・議会広報紙関係…年4回「議会だより」を発行している。(定例会終了後、翌々月の第2木曜日発行) ・ホームページ関係…合志市発足と同時に市のホームページが開設されたことに伴い、議会情報も掲載し運用を開始。議会概要、議会からのお知らせやお願い、議員名簿、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録、議会だより、議会カレンダー等を掲載している。 ・本会議のインターネット配信関係…平成25年9月定例会から本会議のインターネット配信(ライブ・録画中継)を開始。議会の審議の様様を自宅にいながら見ることができる。
【業務の流れ】	・議会広報紙関係…編集作業は、毎定例会(年4回)後に議員で構成する議会広報調査特別委員会を5回程度開催し、原稿依頼や収集、紙面レイアウトなどを行い、印刷業者へ発注し印刷する。 ・ホームページ関係…議会概要、議会からのお知らせ・お願い、議会カレンダー、議員名簿、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録、議会だよりを掲載し随時更新。定例会の会期中にはツイッターで随時情報を提供。 ・本会議のインターネット配信関係…議場に設置したカメラで撮影した定例会本会議の映像を、インターネットで配信する。
【主な予算費目】	旅費(費用弁償、普通旅費)、需用費(印刷製本費)、委託料
【意見や要望】	・議会広報紙関係…市民からは、行政用語、専門用語を使わず、分かりやすい言葉を使ってほしいとの要望を聞いている。また発行を早くしてほしい、印刷をフルカラーでしてほしい、議会報告会における意見交換会の内容を掲載してほしい等の要望もあがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	議会広報紙「議会だより」を年4回発行し、ホームページにも掲載した。(5月20, 05, 0部・8月20, 150部、11月20, 200部・2月 20, 250部)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
議会概要、議会からのお知らせ・お願い、議会カレンダー、議員名簿等掲載した。また、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録を掲載し、随時更新した。定例会期間中は、ツイッターで随時情報を提供した。本会議のインターネット中継配信(ライブ・録画中継)を実施した。		平成29年度は、2年に1度の議会広報特別委員会視察研修を実施予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日	予算の主な増減の理由
→ ① 本会議開催日数	日	平成29年度は隔年1回の議会広報特別委員会視察研修であるため、旅費の増。また、議会だよりにおいては世帯増による印刷製本費の増。
→ ① 広報紙発行回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		(単位) 人
		→ ア: 人口
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
自宅で気軽に審議の様子や議会活動情報を入手し、議員がどんな活動を行っているかがわかり、議会に関心を持つようになる。		(単位) %
		→ ア: 議会だよりを読んだ
		→ イ: インターネットアクセス数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
ア、市民の関心を計る指標として設定した。委員の研修等の成果により、親しみの持てる紙面づくりができ、市民の関心を高めることができるのではと考え、目標値を60%とした。イ、議会情報を周知する手段としてホームページを活用していることから、閲覧状況を成果指標とした。目標値については、平成27年度は改選と重なり関心を集めたが平成28年度以降は落ち着くと考え平成26年度を参考に設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア 日		25	25	26	21	26	26	26	26	
	イ 回		4	4	4	4	4	4	4	4	
② 対象指標	ア 人		59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500	
	イ										
③ 成果指標	ア %		49.1	44.2	60	49.8	60	60	60	60	
	イ 回		11,160	13,855	12,000	9,146	12,000	12,000	12,000	12,000	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	3,859	4,035	4,123	3,478	4,623	4,925	4,925	4,925
		(A) 事業費計	千円	3,859	4,035	4,123	3,478	4,623	4,925	4,925	4,925
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	4	4	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	正規職員従事人数	人	4	4	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	901	881	1,100	947	1,100	1,100	1,100	11,000	
	(B) 人件費計	千円	3,589	3,271	4,382	3,538	4,382	4,382	4,382	43,824	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,448	7,306	8,505	7,016	9,005	9,307	9,307	48,749	

事務事業名	議会広報広聴事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 議会広報紙関係…親しみの持てる紙面づくりに委員一同取り組み、一定の成果は上がっているが、まだ成果指標を見る限り結果として表れていない。これは、市政及び議会に対する関心が低いことが背景にあると考えられる。 ホームページ関係…本年度は熊本地震のため、平成28年6月の第2回例会が短縮日程で開催されたこともあり閲覧回数が目標に達しなかったと思われる。
	②29年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 議会広報紙関係…議会広報調査特別委員会を設置し年4回広報紙を発行する予定。紙面内容の工夫等をおこなっているが、議会に対する関心はまだ低く目標達成は厳しい。 ホームページ・本会議インターネット配信関係…開かれた議会づくりを基本とし随時更新を行う予定のため、達成の見込みはついていない。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 議会広報紙関係…見やすい、読みやすい紙面への改善。発行時期の改善。 ホームページ関係…ホームページ利用者の満足度を高める工夫が必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 議会広報紙関係…広報こうしに議会のページを設ける。毎月の発行であり、よりタイムリーな情報を提供できるが、広報こうしの原稿締め切りに間に合わない等の問題はあ。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 議会広報紙関係…印刷に係る経費が大半であり、見積競争入札により決定していることから、これ以上の削減の余地はない。 ホームページ関係…ホームページ掲載に関しては職員が行っているため、削減の余地はない。 本会議インターネット配信関係…最低限の事業費で行っており、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 議会広報紙関係…区入りしていない世帯への配布方法について検討が必要である。 ホームページ・本会議インターネット配信関係…誰でもがいつでもアクセスできるもので、受益者負担は伴わない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

議会広報紙関係…定例会ごとに発行する議会だよりについては、6人の委員の意見を集約し、分かりやすい紙面づくりに努められている。その結果徐々に内容も充実してきているが、その成果が市民の関心を高める結果に直結していないと考えられる。市政及び議会に対する関心を高めるために、議会及び議員活動の活性化と議会事務局の充実を図る必要がある。
 ホームページ関係…掲載内容は随時更新しているが、ツイッターを利用し、よりタイムリーな情報を発信するよう心掛け掲載している。会議録検索システムについては、ホームページ掲載まで約3カ月の期間を要しており、情報提供の遅れに課題はあるが、会議録作成に約3カ月間がかかるため、困難な状況にある。
 本会議インターネット配信関係…本会議を傍聴できない市民等が本会議を視聴するため平成25年度から導入、アクセス数も伸びていたが、本年度は熊本地震により本会議開催日程・内容等に影響があり目標に達しなかった。しかし、開かれた議会づくりに貢献できている。今後は、より多くの市民等にアクセスしていただくようPRを行っていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 議会広報紙関係…より分かりやすい紙面づくりに努める。 ホームページ・本会議インターネット配信関係…開かれた議会づくりを基本とし、市民に議会情報を周知する手段の一つとして、今後も随時更新を行う。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																								